

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人かたばみ会	代表者	酒井 素行	法人・事業所の 特徴	事業所は光ヶ丘の高台に位置し、窓からは海岸線も見え、日本海に沈む美しい夕日を眺めることができる。住み慣れた自宅ですいつでも過ごすことができるように、生活リハビリや必要な介護をご家族と一緒に作り上げています。また、重度の要介護状態になっても同法人で運営する特別養護老人ホームかたばみ荘と連携を図り、支援が可能。
事業所名	多機能施設かたばみ荘	管理者	佐藤 千代樹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	2 人	人	1 人	1 人	人	2 人	人	7 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価で作成した改善計画を掲示する等して1年間意識して取り組んでいく。	事務室内に改善計画が掲示されており、今年度の評価を全員が確認できる様になっている。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価④⑤で、地域資源の把握、活用が不十分とある。地域住民の中でも多機能を知らない方も居る。地域からの情報を、都度、電算ツールとエコマップに入れ込んでいけばどうか。 地域の情報は、各自治会や包括から更に情報を得ていく必要あり。 	事業所自己評価<9項目の改善計画>を掲示して、取組み内容をいつでも確認できる様にしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	オレンジかふえなどを利用し、施設利用者以外の方にも施設に来てもらう。	オレンジかふえのチラシ配布や、回覧板等は地域の方々へ浸透しなかった。坂が多い地域なので送迎が無いと参加できない。事業所での公益事業を今後も視野に入れていく。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の環境について問題となる項目は見られない。棚を設置し、使い易く、ホール見守りしやすい環境整備をしている。 事業所内の清掃されている。 	ホール・和室コーナー・個室・玄関など、事業所の清掃と環境整備を計画的に行なっていく。
C. 事業所と地域のかかわり	オレンジかふえ参加者が増えるような取組みを実施する。	地域文化祭、地域の避難訓練、ゴミ出し、子供神輿、地域交流会、足湯、公園散歩などされている。地域の方からの参加者数が少ない為、オレンジかふえは来年度中止となる。	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長より、学区でも地域ボランティア活動をしているが、中々依頼や相談が無く、存在意義が問われている。今後、高齢化していく地域で、支え合いの動きに繋がっていかねばと思う。 プライバシーの観点から、自治会長にも民生委員からの情報が少ない。 地域の生活の情報共有を行なっていく上で難しい部分がある。 事業所の隣に店が建った。地域での買い物や外出の機会も増えるのではないかと。 	今後も地域行事への参加を続けて行き、地域の方々へ多機能施設を知られる取組みを続けていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域交流会の継続と実施時期の検討。	2日間に分けて地域交流会を開催し、本人・家族・民生委員・運営推進委員・職員が参加している。皆で協働で行なったおやつ作りや、スライドショーを使った活動を見れて感動する家族も居た。時間的にも丁度良かったと思う。	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流会のスライドショーを皆が見れる工夫をこれからも継続してもらいたい。 開催時期も民生委員等の聞き取りをして参加を募っている。 	地域交流会の継続。実施日と参加者の調整をしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議への報告内容の見直し。	月毎の利用状況の報告、施設行事の実施報告を行なっている。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の困り事などの報告と相談は、プライバシーの部分に配慮が必要である為、自治会や民生委員の間でも話が出てこない事が多い。 地域のかかわりの観点からも、会議内容に地域の中での困り事等の項目を上げてもいいのではないかと。 	運営推進会議内容の確認と見直し。
F. 事業所の防災・災害対策	運営推進会議メンバーへの災害訓練の報告と参加の呼びかけ。	運営推進委員の施設の非常災害訓練への参加が、今年度より行える様になった。訓練当日は消防署員が急に不参加になってしまったが、実際の訓練状況や反省と課題も見ることができた。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の立地条件から、事業所下の地域から火災が発生した場合には、火の吹き上げの危険もあるのではないかと。 事業所が一時避難場所として機能できるように様々な観点から確認していきたい。 一人体制の夜勤対応を考えると、より初期動作が大切になってくるので人命第一の救助訓練を継続してほしい。 	定期的な災害訓練の実施。地域被災時の事業所の対応方法の確認と、準備態勢の確認。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 9月 14日 (19:00 ~ 20:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	安藤早苗、佐藤千代樹、久松隆志、村上意知朗、相庭美峰、佐藤美紀、伊藤義則、兵藤則子、矢口真由美

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	0 人	人	10 人

前回の改善計画	電算の記録ツールの活用を通して、援助内容の共有の他、利用者個々のエピソードも共有を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人、家族の思い、要望の聞き取りを利用開始前に回覧している。 申し送りは8:30、10:00、13:00の3回情報共有に努めている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		9	1		10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		9	1		10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		9	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用開始時には事前に書面等で回覧されており、口頭での情報伝達と共に共有されている。 電算ツールを活用する事で一元化できている。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 利用初日からの細かな初期支援の情報が、パソコンに入力されていない。 何処に視点を置いて、大切な情報と捉えるか個々で曖昧であった為に、必要な情報が行き渡り難い状態。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 初期支援の大切な情報は、口頭での申し送りでは無く、細かくパソコン入力していく。 口頭で発信された新しい支援情報は、その都度電子ツールへ記録する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 9月 14日 (19:00 ~ 20:30)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	安藤早苗、佐藤千代樹、久松隆志、村上意知朗、相庭美峰、佐藤美紀、伊藤義則、兵藤則子、矢口真由美

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	10 人	人	人	10 人

前回の改善計画	普段からの関わりからケアプランを意識し、ケアプランの見直しを含めたカンファレンスの実施。
前回の改善計画に対する取組み結果	カンファレンスでケアプラン内容と、支援方法の再確認している。 細かなケアプランの見直し修正にまで至らない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?		8	2		10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		9	1		10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		9	1		10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		9	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 定期的にカンファレンス実施し、本人の意向・要望に基づき意見交換されている。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の「～したい」の具体的な目標が把握できていない。 カンファレンス内で挙げられた改善点が、プランの見直し修正にまで至っていない。 プラン変更までの流れが確立されていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 日頃の関わりの中で、本人から「～したい」を聞き取り、電子ツールへ記録する。 カンファレンスで見直した支援内容を元に、個別支援計画を作成する。見直した個別支援計画や、本人の要望を、家族に情報提供していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 9月 14日 (19:00 ~ 20:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	安藤早苗、佐藤千代樹、久松隆志、村上意知朗、相庭美峰、佐藤美紀、伊藤義則、兵藤則子、矢口真由美

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	8 人	2 人	人	人

前回の改善計画	普段からの関わりからケアプランを意識し、ケアプランの見直しを含めたカンファレンスの実施。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングやカンファレンス内で心身の状況確認をしている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		1	8	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	8			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		9	1		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？		10			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		10			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 心身の状態変化に都度話し合い、伝達している。 本人に合った介助方法を検討し支援されている。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の「以前の暮らし方」「自宅での生活」等、深くその方を知ろうとする意識が不足している。 24時間生活全体を支える意識や、正しい理解ができていない。 本人の目標に対する必要な支援を話し合う所までは至っていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新たな情報を得たらエコマップへ都度記入していく。(以前の暮らし方10個以上を目標にする。) カンファレンス開催時には、個別支援計画、エコマップ、ケア記録の期間内の確認をする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 9月 14日 (19:00 ~ 20:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	安藤早苗、佐藤千代樹、久松隆志、村上意知朗、相庭美峰、佐藤美紀、伊藤義則、兵藤則子、矢口真由美

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	7 人	2 人	10 人

前回の改善計画	現在行なっているエコマップ作成の継続と、本人の地域での今の生活の把握。
前回の改善計画に対する取組み結果	エコマップ作成をしている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	5		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	4		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		1	9		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	8		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎業務を職員皆で行ない、家族から直接情報を得やすくなっている。 地域交流会や子供神輿、コミセン文化祭で地域の方々との交流と情報交換ができています。 住み慣れた地域で暮らす事の大切さを理解できるようになった。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源の把握、活用が不十分。 利用者の生活の全体像が捉えられていない。特に自宅での生活状況の把握が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
エコマップの更新と活用の為、自宅や地域での生活圏の情報を知る。 利用者の生活圏を、事業所だけの点と点でなく、自宅生活などの面と面で支えられる様にエコマップ活用をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 9月 14日 (19:00 ~ 20:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	安藤早苗、佐藤千代樹、久松隆志、村上意知朗、相庭美峰、佐藤美紀、伊藤義則、兵藤則子、矢口真由美

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	9 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	施設内の行事で地域資源の活用を意識していく。地域行事にも積極的に参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	随時の行事を計画している。地域の場所や行事、企画に参加活用している。 家族からの利用希望時には調整行なう。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	6		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	8			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		9	1		10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		9	1		10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
足湯、図書館、公園散歩、町の避難訓練、など当日の天気です随時の行事を計画実施している。 多機能らしく必要時、体調不良時への柔軟な利用の対応支援ができています。	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
地域資源の把握が少ないため、活用が十分ではない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
カンファレンス時にエコマップの確認をして、情報を追加していく。 情報を元に、地区行事の参加への依頼に繋げて行く。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 9月 14日 (19:00 ~ 20:30)
6. 連携・協働	メンバー	安藤早苗、佐藤千代樹、久松隆志、村上意知朗、相庭美峰、佐藤美紀、伊藤義則、兵藤則子、矢口真由美

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	5 人	4 人	人	10 人

前回の改善計画	運営推進会議やサービス担当者会議へケアワーカーも参加する機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	サービス担当者会議にケアワーカーが出席し、支援状況の細かい情報を伝達している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？		5	1	4	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？				10	10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？		5	2	3	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		6	2	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域の防災訓練、子供神輿、地域交流会、高校ボランティア等参加し連携協働できている。 サービス担当者会議にCW参加し、細かい情報を伝えられている。
--------	---

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 地域会議参加していない。 運営推進会議へCWの参加の機会が無い。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 運営推進会議、サービス担当者会議等にケアワーカーが参加出来る様に計画的に行なっていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 9月 14日 (19:00 ~ 20:30)
------------------	-----	-------------------------------

7. 運営	メンバー	安藤早苗、佐藤千代樹、久松隆志、村上意知朗、相庭美峰、佐藤美紀、伊藤義則、兵藤則子、矢口真由美
-------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	5 人	人	10 人

前回の改善計画	施設の活動を認知してもらえるように、屋外(特に駐車場側)での利用者と一緒に活動機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	足湯や公園散歩等で直接住民とのふれあいの場に出る機会を持っている。 オレンジかふえへの参加増への取組みを行ってきたが、参加者減少のため来年度は計画を一度中止する。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?		9	1		10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		10			10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		8	2		10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	7		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
足湯、公園散歩、駐車場での花火、マラソン応援、子供神輿、コミセン文化祭、防災訓練等に参加行なっている。 オレンジかふえ参加が少ないが、事業所には地域の方が訪れている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
屋外行事は天候に左右されやすく随時の外出の機会が少ない。 オレンジかふえの参加者が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域への参加機会を、小さいことから積み重ねて地域との協働に繋げて行く。 ④「あまりできていない」7名評価あるが、小さい事を積み重ねて出来ているとの会議で評価ある。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 9月 14日 (19:00 ~ 20:30)
------------------	-----	-------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	佐藤千代樹、久松隆志、村上意知朗、相庭美峰、佐藤美紀、伊藤義則、兵藤則子、矢口真由美
-----------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	2 人	人	人

前回の改善計画	定期的内部研修の継続と、研修担当者を持ちまわり制にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	法人内部研修を実施し参加している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	9			10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		7	2	1	10
③	地域連絡会に参加していますか				10	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		10			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 法人内部研修の参加を定期的実施している。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 多機能内部研修を行なったが、担当を決めて開催されていない。 CW一人一人への必要な研修の見極めが実施されていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 多機能での内部研修を年間行事に担当者を加えて計画していく。
---------------	---

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 29年 9月 14日 (19:00 ~ 20:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	安藤早苗、佐藤千代樹、久松隆志、村上意知朗、相庭美峰、佐藤美紀、伊藤義則、兵藤則子、矢口真由美

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	勉強会の継続(成年後見、拘束廃止、虐待防止)する。
前回の改善計画に対する取組み結果	拘束廃止、虐待防止勉強会実施している。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2			10
②	虐待は行われていない	7	3			10
③	プライバシーが守られている	4	6			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	1	7	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 個人情報、プライバシーは守られている。 身体拘束、虐待はない。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度の必要性のある利用者がいないため、身近な感じが薄い。(後見制度の勉強会を年度末予定。)在宅での家族の介護状況を確認し難い。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者の自宅生活など、事業所以外の全体像を把握していく。 身体拘束、虐待などの危険性は一人で抱え込まず、情報を細かく記録し、適切な情報を包括支援センター、市へ情報共有していく。
---------------	---